■第385回食品安全委員会

日時：平成23年6月9日（木）14:00～15:17

傍聴者：6名

議事概要：

（1）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

1) 「L Y S - N O . 1 F株を利用して生産された塩酸L-リジン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

- ・担当委員の長尾委員及び事務局から説明。
 - ・取りまとめられた評価書（案）について、意見・情報の募集手続きに入ることが了承された。
- * 栄養成分の補給を目的に家畜用飼料に混合添加される飼料添加物です。

（2）食品安全基本法第24条に基づく委員会の意見について

1) 農薬「アセタミプリド」に係る食品健康影響評価について

・「アセタミプリドの一日摂取許容量（ADI）を0.071mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

* 殺虫剤で、ばれいしょ、トマト、かんきつ類等に使用します。豆類、非結球あぶらな科野菜、しゅんぎく等への適用拡大申請がされています。

2) 動物用医薬品/飼料添加物「アビラマイシン」に係る食品健康影響評価について

・「アビラマイシンのADIを1.5mg/kg体重/日と設定する。」との審議結果が了承され、リスク管理機関（厚生労働省）へ通知することとなった。

* 抗生物質で、日本では、豚及び鶏を対象とした飼料添加物として、海外では、動物用医薬品として使用されています。ポジティブリスト制度導入に伴う残留基準（いわゆる暫定基準）が設定されています。

（3）企画専門調査会における審議結果について

1) 平成22年度食品安全委員会運営計画のフォローアップについて（報告）

2) 平成22年度食品安全委員会運営状況報告書について

- ・担当委員の長尾委員及び事務局から説明。
- ・「平成22年度食品安全委員会運営計画のフォローアップ」について了承され、「平成22年度食品安全委員会運営状況報告書」について決定された。また、企画専門調査会で出された意見も踏まえ、食品安全委員会の体制等の見直しを進めていくこととなった。

（4）食品安全委員会の5月の運営について

- ・事務局から報告。

（5）その他

1) ドイツにおける腸管出血性大腸菌の発生について

- ・担当委員の熊谷委員及び事務局から説明。